

全電線を上部団体とするフジクラ労働組合は、本社支部・佐倉支部・沼津支部・鈴鹿支部の4支部で構成され、組合員約2200名の組織です。

当労組では、社会貢献活動としてこれまでも全電線の自然災害見舞金制度である「全電線・愛のカーンパ」や、フジクラと係わりの深いタイ地区への教育支援である「ダルニー奨学金制度」への援助を97年から独自に支援するなどの取り組みをしてまいりました。

また、労働組合の下部組織であ

る青年女性委員会では主体的に「新潟県中越地震災害義援金」の募集をしたり「プルタブ回収運動」という独自の活動をしています。

今回は全支部において活動展開中の「プルタブ回収運動」について紹介をさせていただきます。

◆これまでの経緯

2003年度、当労組佐倉支部青年女性委員長は、自分たちの手で出来るボランティア活動はないかと考えていたある日、「プルタブ回収運動」が目にとまり、興味を持つため調べてみることにしました。

プルタブ回収運動は、缶公害防止連絡協議会と「フクナガエンジニアリング」が中心となり、学校・各団体で広く取り組まれている活動であり、プルタブや

プルタブ回収BOX



自販機に設置されたプルタブ回収BOX



機コーナーへ手作りのプルタブ回収BOXの設置や、各職場へも回収箱を配布しプルタブ回収運動がスタートしました。

空き缶を回収し、アルミを再資源化することで得た利益を車椅子に交換する福祉活動です。また、「公害を生み出さない人づくり」「空き缶散乱防止公害をなくす」ことをも目指している活動のひとつです。

目標である800kg(車椅子1台相当)到達へは非常に長い道のりであることを実感し、プルタブ以外にアルミ缶も併せて回収するようになりました。しかし、回収したアルミ缶は潰して梱包用ダンボールで業者へ送付する必要があり、青年女性委員が昼休みや定時後、自主的に集まり労力をかけて缶潰しを始めました。そして、多くの人達の賛同を得ながら、プルタブ回収運動がスタートしてから約半年後の2004年4月に初めて約117kgを送ることが出来ました。



アルミ缶・プルタブ回収の推進ポスター

すくらすむトライ

労働組合の活動事例 ⑬

フジクラ労働組合中央執行委員 / 押尾 忠

フジクラ労働組合の社会貢献活動

プルタブ回収運動への取り組み

昼休みや定時後に行う缶つぶし作業



◆試行錯誤の故

順調にプルタブやアルミ缶の回収が進むにつれ、缶を潰すといった手間をどのように解消するかが問題になりました。規定の梱包用ダンボールに詰める為には、中途半端な潰しかたでは見た目はたくさんあるように見えますが、重さを量ると思っていたより軽いなど、費用面からも効率よく梱包をするために青年女性委員会・支部執行

部で色々と思案しました。最初は自動車用のジャッキに鉄板を溶接し手動式プレス機を作りました。確かに足で潰すよりもはるかに均一に潰すことが出来ましたが、一度に処理できるのは1〜2缶程度と非常に効率が悪く苦勞をしました。その後は油圧ジャッキにモーターを付け半自動化との案も出されましたが、部品代や改造費、更には、安全面での問題等が出され実現に至らず、手動プレス機を使い続けていました。

そのような中、当時の執行委員宅にアルミ・鉄判別装置付き電動プレス機があるとの情報をもらい、早速譲り受け、施設課にメンテナンスを依頼し、部品・動作状態に不具合がないことを確認した上で支部執行部としても缶が詰まる等の不具合発生時、安易にカバーを開けないように施錠し、更には事業所安全担当の安全監査を受け、問題がないことを確認し青年女性委員会へ引き渡しました。これにより作業性も向上し2004年4月以降、2006年8月までに7回

の発送をすることができ、累積で目標の約半分にまで到達しました。

◆全支部への展開

フジクラ労働組合青年女性委員会は、年2回の幹事会を開催し、各支部年間活動計画・経過報告等々を行っています。その中で佐倉支部の「プルタブ回収運動」の報告を随時行うなかで、他支部からも少しずつ賛同を得ながら、2005年度からは全支部で年間活動として展開ができるまでにになりました。

プルタブ回収運動がスタートし3年が経ちますが、目標達成までの道のりは非常に長く一人ひとりの小さなボランティアの気持ちが必要不可欠であり、根気のいる活動になります。この小さなボランティアの気持ちが発端となり、更なる活動として青年女性委員会では「藤倉学園」というフジクラが設立にかかわり援助も行っている知的障害者・児童の施設に対して、労働組合としても社会貢献活動の一環としてどのような協力ができ

るかの検討も始まりました。

今後も、フジクラ労組青年女性委員会が一丸となり、更により多くの方に協力をお願いしつつ、早く車椅子が贈れるように今後も積極的に取り組んでいきます。

◆プルタブ回収運動経過報告◆

単位(kg)

発送日	2004年		2005年		2006年			累計
	4/20	12/21	6/1	11/22	2/13	5/25	8/11	
プルタブ	26.0	34.2	29.3	14.7	25.6	52.8	0.0	
アルミ缶	90.9	83.0	68.5	61.1	48.0	0.0	32.9	
合計	116.9	117.2	97.8	75.8	73.6	52.8	32.9	567.0
運送費後差引	56.9	94.7	67.8	53.3	51.1	37.8	25.4	378.0